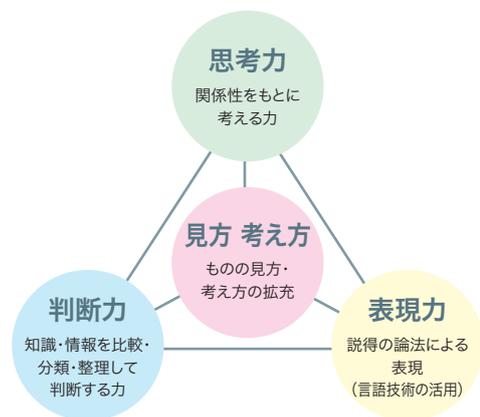


育む 光華論理

グローバル社会では自分と異なる文化背景で生まれ育った人々や、異なる価値観を持っている人々と協働しながら課題解決を図ることが求められます。「光華論理プログラム」では他者を理解し、自分の思いや考えを他者にわかりやすく伝えるために論理的な思考力、判断力、表現力を養います。



「問い」を持つ姿勢

物事の関係性をもとに考える力が論理的な思考力です。常に物事の根拠を意識し、整理することであふれる情報に流されることなく、「なぜそうなのか」「その方法で課題が解決できるのか」と問う姿勢が身につきます。



「自由な思考」への高まり

知識や情報を比較・分類・整理して判断できる力を身につけることで、俯瞰的な視点で物事を思考できるようになります。「こうしたらできる」「みんなで協働するには」など自身の可能性を広げる思考につながります。



「自己認識」へのつながり

自分が「何者」であるかを常に考えながら学ぶことで客観的な「自己認識」に基づいて行動できるようになります。学習の場面のみならず、行事や部活動など全ての校内活動につながり、将来の進路設計にも大きく影響を及ぼす力となります。

